

LANカード PR-LN4Sソフトウェアガイド



Rev.05

目次

1	はじめに	2
1.1	概要	2
1.2	本書中の表記について	3
1.3	関連ドキュメント	5
1.4	動作環境	5
1.5	機器の説明	6
1.5.1	各部の名称と動き	6
1.5.2	ネットワークに接続する	7
1.5.3	セキュリティ対策	7
2	Windows 環境での使用	8
3	プリンターLAN 設定ツールによる簡単設定	10
3.1	インストール	10
3.2	操作方法	13
3.2.1	IP アドレスの設定	13
3.2.2	プリンター専用 TCP/IP ポートの追加	18
3.2.3	プリンターポートの変更新しいデバイスの追加	21
4	Windows 標準の印刷クライアント機能で印字する	23
4.1	Standard TCP/IP ポートで印字する	23
4.2	IPP ポートで印字する	29
5	Web ブラウザーで設定する	33
5.1	Web ページを表示する	33
5.2	Web ページから設定する	34
5.3	Web ページメニュー構成	34
5.4	設定項目	35
5.4.1	プリントサーバー機能	35
5.4.2	SSL 証明書作成	38
5.4.3	E-Mail 送信機能	40
5.5	SSL 証明書の作成とインストール	41
6	トラブルシューティング	46
6.1	導入時の問題	46
6.2	印字時の問題	49
6.3	Windows TCP/IP 環境での問題	50
6.4	SSL 印字の問題	51
7	使用上の注意	52

1 はじめに

1.1 概要

本書は、本製品の設定およびご利用方法を記載しています。

正しく安全にお使いいただくために、ご熟読ください。

ネットワーク環境で Windows プリンタードライバーをご使用の際は、プリンターのネットワーク設定及びプリンター専用ポートの作成が必要です。

PR-LN4S のネットワーク設定は、「プリンターLAN 設定ツール」のお使いいただくと簡単に設定することができます。

本書内の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。その他全ての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

1.2 本書中の表記について

本書では下記製品を、略語で表記します。

また、「すべてのプログラム（アプリ）」、および「プリンターの追加」は、Windows オペレーティングシステムにより手順（説明内容）が異なる場合があります。

次ページの手順をご覧になり、ご使用の Windows オペレーティングシステムに該当する表現に読み換えてください。

製品名称	本書での表記(略語)	
Windows® 11 Enterprise	Windows	11
Windows® 11 Education		
Windows® 11 Pro		
Windows® 11 Home		
Windows® 10 Enterprise (64 ビット版/32 ビット版)		10
Windows® 10 Education (64 ビット版/32 ビット版)		
Windows® 10 Pro (64 ビット版/32 ビット版)		
Windows® 10 Home (64 ビット版/32 ビット版)		
Windows® 8.1 Enterprise (64 ビット版/32 ビット版)		8.1
Windows® 8.1 Pro (64 ビット版/32 ビット版)		
Windows® 8.1 (64 ビット版/32 ビット版)		
Microsoft® Windows Server® 2025 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2025 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter		2022
Microsoft® Windows Server® 2022 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2022 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2019 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter		2016
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter		2012 R2
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter		2012
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials		

■ すべてのプログラム（アプリ）

オペレーティングシステム	手順
Windows 11 / 2025	[スタート] ^(注2) をクリックし、表示されたメニューから「すべてのアプリ」をクリックします。
Windows 10 / 2022 / 2019 / 2016	[スタート] ^(注2) をクリックします。
Windows 8.1 / 2012 R2	(1) スタート画面を開き、マウスを画面下部に移動させます。 (2) 下矢印  が表示されますので、クリックします。
Windows 2012	スタート画面を右クリックし、「すべてのアプリ」をクリックします。

■ プリンターの追加

オペレーティングシステム	手順
Windows 11 / 2025	(1) [スタート] ^(注2) → [設定] → [Bluetooth とデバイス] → [プリンターとスキャナー] を選択します。 (2) [デバイスの追加] をクリックします。 (3) 「プリンターが一覧にない場合」部の[手動で追加]または[新しいデバイスの追加]をクリックします。
Windows 10 / 2022 / 2019	(1) [スタート] ^(注2) → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」を選択します。 (2) 「コントロールパネル」が表示されたら、「ハードウェアとサウンド」部にある「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。 (3) [デバイスとプリンター]の、[プリンターの追加]をクリックします。
Windows 8.1 / 2016 / 2012R2 / 2012	(1) 「Windows ロゴ」キー + 「X」キーを押し、画面左下にショートカットメニューから「コントロールパネル」を選択するか、[スタート] ^(注2) → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」を選択します。 (2) 「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」 ^(注1) - 「デバイスとプリンター」を選択し、「プリンターの追加」をクリックします。

注 1) Windows Server オペレーティングシステムでは、「ハードウェア」と読み替えてください。

注 2) [スタート]とは、デスクトップ画面左下、または下中央の Windows ロゴ  が付いたボタンを表します。

1.3 関連ドキュメント

下表に関連するドキュメントを示しますので、適宜ご覧ください。

取扱説明書		参照フォルダーとファイル名
fit7850Pro/fit7650Pro	プリンター編	¥MANUAL¥fit7850Pro_7650Pro¥INDEX (PRINTER). PDF
	ソフトウェア編	¥MANUAL¥fit7850Pro_7650Pro¥INDEX (SOFTWARE). PDF
fit7450Pro	プリンター編	¥MANUAL¥fit7450Pro¥INDEX (PRINTER). PDF
	ソフトウェア編	¥MANUAL¥fit7450Pro¥INDEX (SOFTWARE). PDF

1.4 動作環境

➤ ホストハードウェア

- (1) 100BASE-TX/10BASE-T ネットワークインターフェイスを備え、Windows オペレーティングシステムが動作するパソコン。
- (2) 「プリンターLAN 設定ツール」を使用するには、“ .NET Framework2.0 ” 以上が必要です。インストールされていない場合は、Microsoft 社ホームページから、“ .NET Framework2.0 ” を入手し、インストールしてください。

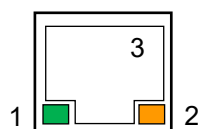
➤ 実行条件

「プリンターLAN 設定ツール」を実行するには、管理者権限が必要です。実行する際は、Administrators のアカウントでログオンしてください。

1.5 機器の説明

1.5.1 各部の名称と動き

■ パネル部



- (1) **S (Speed) LED (緑)**
接続先を 100BASE-TX と認識したときに点灯します。
未接続のとき又は接続先を 10BASE-T と認識したときに消灯します。
- (2) **L/A (Link/Act) LED (橙)**
100BASE-TX 又は 10BASE-T でリンクが確定したときに点灯します。
パケットを受信したときに点滅します。
- (3) **ネットワークポート (10BASE-T/100BASE-TX 自動認識)**
ネットワークケーブル (100BASE-TX 環境では、カテゴリ 5 以上) を接続します。

■ DIP スイッチ部

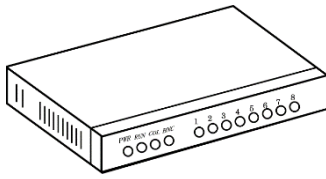


- (1) **SW1 (DHCP切り替え)**
OFF のとき、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) が有効になります。
ON ^(注 1) のとき、DHCP が無効になります。
- (2) **SW2 (設定初期化)**
SW2 をオンにしてプリンターの電源を投入すると、PR-LN4S の IP アドレスやサブネットマスクの設定を初期化します。
- (3) **SW3 (設定印字)**
LAN カードに設定されている IP アドレスやサブネットマスクなどの情報を印字します。
- (4) **SW4 (保守)**
保守機能を有効にします。保守機能のため、通常時はスイッチを ON にしないでください。

注 1) DHCP “無効” (SW1=ON) で、設定初期化 (SW2=ON) したときの IP アドレス初期値は、192.168.192.168、サブネットマスクは、255.255.255.0 です。

1.5.2 ネットワークに接続する

PR-LN4Sをネットワークに接続するために、以下のものをご準備ください。



イーサネットハブ (HUB)



ネットワークケーブル

注 1) 100BASE-TX 環境でお使いの場合は、100BASE-TX 対応のイーサネットハブ (HUB) とネットワークケーブル (カテゴリー 5 以上) をご使用ください。

■ ネットワークへの接続方法

1. プリンターの電源が OFF になっていることを確認します。
2. PR-LN4Sのネットワークポート (100BASE-TX/10BASE-T) にネットワークケーブルを接続します。
3. イーサネットハブ (HUB) に、ネットワークケーブルのもう一方を接続します。
4. プリンターの電源を ON にし、PR-LN4Sの “L/A LED (橙)” が点灯することを確認します。

1.5.3 セキュリティ対策

印字データを暗号化し、情報漏洩を防止するSSL (セキュア) 印字に対応しています。
SSL印字を行うには、SSL証明書を作成し、お使いのパソコンにインストールしてください。

- 注 1) SSL 印字は、ファームウェア版数 V4.6.0 以降、且つ、Windows 8.1 以降で対応しています。
- 注 2) SSL 証明書の作成方法は、『5.4.2 SSL 証明書作成』(38 ページ)を参照してください。
- 注 3) ポートの URL に IPv6 アドレスを指定したとき、セグメントの異なるプリンターへの印字には対応していません。

2 Windows 環境での使用

本章では、Windows 環境で本製品を接続し、TCP/IPプロトコルで印字する方法について説明します。

本製品をTCP/IPプロトコルを利用して印字する際の手順は以下の通りです。

パソコンのネットワーク設定を確認する



プリンターLAN設定ツールを使用し、IPアドレスを設定する



プリンターLAN設定ツールを使用しプリンターポートを設定する



印字

- 注 1) あらかじめプリンタードライバーをご使用のパソコンにインストールしてください。
- 注 2) 設定を行うには、管理者権限 (Administrator) が必要です。
- 注 3) 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[許可]または[はい]を選択してください。
- 注 4) 本書中の IP アドレスは設定例です。お使いの環境にあった IP アドレスに読み替えてください。



ガイド

Windows 標準の印刷クライアントで印字を行う場合は、『Windows 標準の印刷クライアント機能で印字する』(23 ページ)を参照してください。

■ インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) の確認方法

1. [スタート] - 「コントロールパネル」^(注1) - 「ネットワークとインターネット」 - 「ネットワークと共有センター」 - 「アダプターの設定の変更」を選択します。

- 注 1) 「コントロールパネル」を開く方法は、Windows オペレーティングシステム毎に異なります。
- ・ Windows 11 / 2025 のとき
⇒ [スタート]ボタンを押し検索ボックスに control と入力し、「コントロールパネル」を選択します。
 - ・ Windows 10 / 2019 / 2022 のとき
⇒ [スタート]ボタンを押し「Windows システムツール」から「コントロールパネル」を選択します。
 - ・ Windows 8.1 / 2016 / 2012R2/ 2012 のとき
⇒ 「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、画面左下に表示されるメニューから「コントロールパネル」を選択するか、[スタート]ボタンを押し「Windows システムツール」から「コントロールパネル」を選択します。

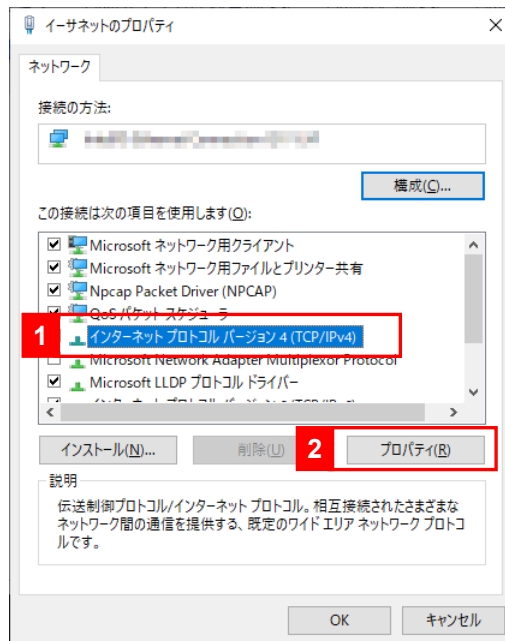
2. ネットワーク接続の画面で、お使いの「イーサネット」のアイコンを右クリックし、表示メニューから「プロパティ」を選択します。



ガイド

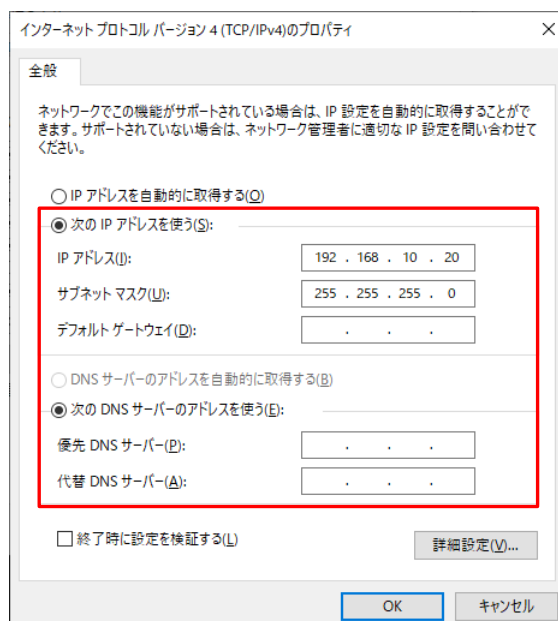
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[続行]または[はい]を選択してください。

3. 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」が追加されていることを確認して、[プロパティ(R)]ボタンをクリックします。



注 1) 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」が一覧にない場合は、[インストール]をクリックし、「ネットワーク機能の種類の選択」-「プロトコル」-「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択、追加してください。

4. 「全般」で、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認します。

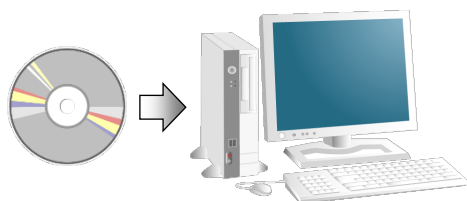


3 プリンターLAN 設定ツールによる簡単設定

3.1 インストール

「プリンターLAN 設定ツール」は、下記手順でインストールします。

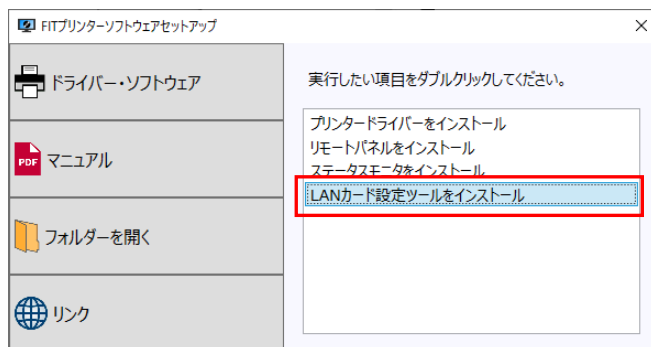
- 1 「ドットインパクトプリンターセットアップディスク」をパソコンのCDまたはDVDドライブにセットします。



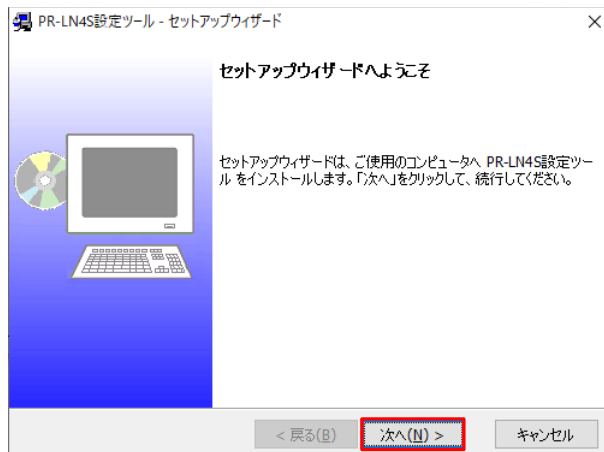
ガイド

- ・「自動再生」ウィンドウが表示されたときは、実行されるプログラムを確認し、「Setup.exeの実行」をクリックします。
- ・セットアップディスクをパソコンのCDまたはDVDドライブにセットしたときに、「このディスクに対して行う操作を選んでください。」などのメッセージ画面が表示されることがあります。このメッセージをクリックして表示される画面で、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択すると、デスクトップ画面に切り替わり、セットアップディスクの一番上の階層が表示されますので、「Setup.exe」をダブルクリックしてください。
このメッセージ画面はしばらくすると消えてしまいます。そのときは、「エクスプローラー」などを使用してCDまたはDVDドライブを開き、一番上の階層にある「Setup.exe」をダブルクリックしてください。
- ・本セットアッププログラムが自動的に表示されないときは、「エクスプローラー」などを使用してCD-ROMを開き、一番上の階層にある「Setup.exe」をダブルクリックしてください。
- ・セットアッププログラムを当社ホームページからダウンロードしたときは、ダウンロードデータを展開したフォルダー内の「Setup.exe」をダブルクリックしてください。
- ・「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[はい]または[許可]をクリックしてください。

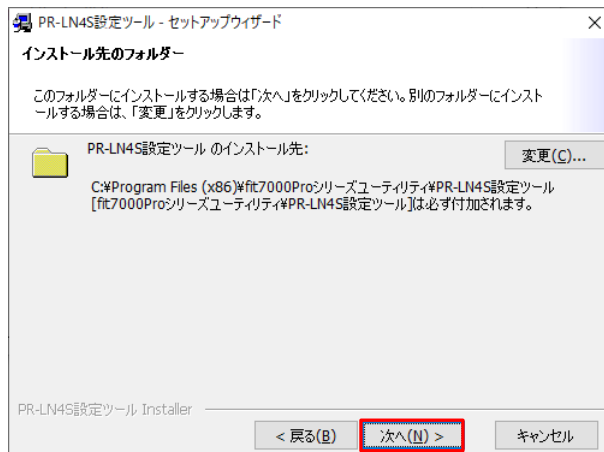
- 2 [LANカード設定ツールをインストール]をダブルクリックします。



3 下記画面が表示されます。[次へ(N)]をクリックします。



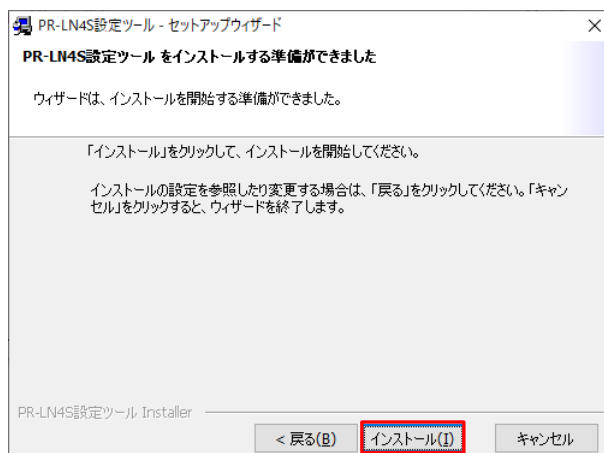
4 インストール先フォルダーを確認して、[次へ(N)]をクリックします。



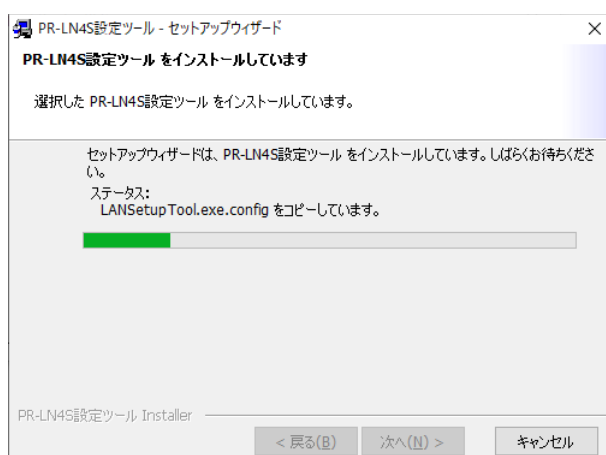
ガイド

- ・ [変更(C)]をクリックすると、インストール先フォルダーを変更することができます。

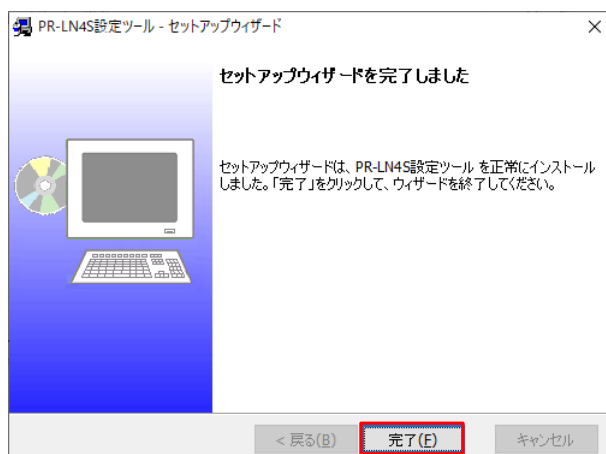
5 [インストール(I)]をクリックします。



- 6 インストール中は下記画面が表示されます。インストールが完了するまで、お待ちください。



- 7 下記画面が表示されたら、インストール完了です。[完了(F)]をクリックします。



- 8 「PR-LN4S設定ツール」を実行して、LANカード (PR-LN4S) の設定を行います。
設定方法は、『3.2 操作方法』(13ページ)を参照してください。

3.2 操作方法

3.2.1 IP アドレスの設定

ここでは、「PR-LN4S 設定ツール」を使用し、LAN カード (PR-LN4S) の IP アドレスの設定方法について説明します。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[許可] または [はい] をクリックしてください。

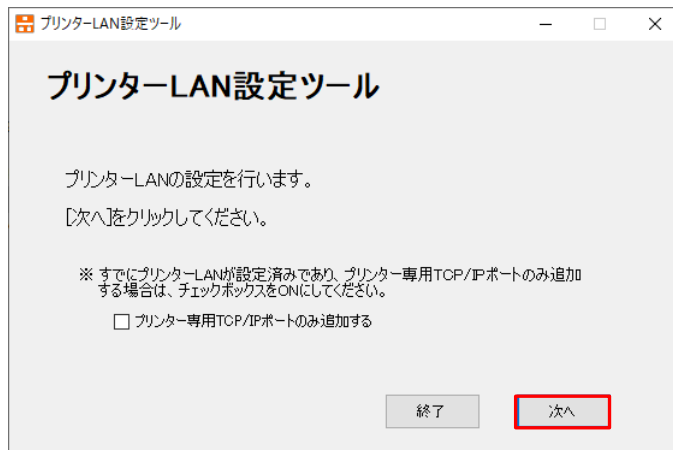
- 1 すべてのプログラムから、「fit7000proシリーズユーティリティ」→「PR-LN4S設定ツール」をクリックします。



ガイド

- ・ Windows11 / 2025 の場合、すべてのアプリから、「PR-LN4S 設定ツール」をクリックします。
- ・ 画面の表示方法は、『1.2 本書中の表記について』-「■すべてのプログラム (アプリ)」(4 ページ) を参照してください。

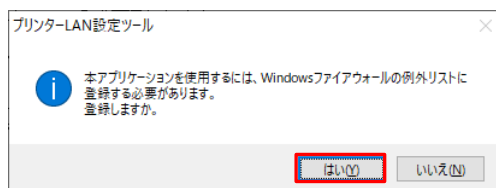
- 2 下記画面が表示されますので、[次へ] をクリックします。



ガイド

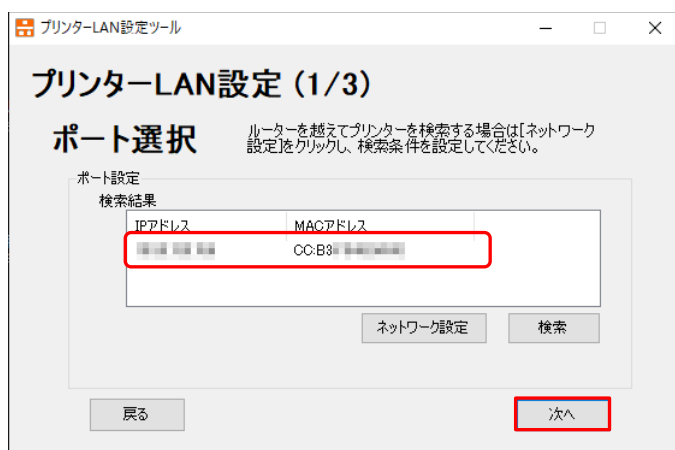
プリンター専用 TCP/IP ポートの追加のみを行うときは、「プリンター専用 TCP/IP ポートのみ追加する」にチェックを付けて、[次へ] をクリックします。
(『3.2.2 プリンター専用 TCP/IP ポートの追加』(18 ページ) 参照)

- 3 [はい] をクリックします。



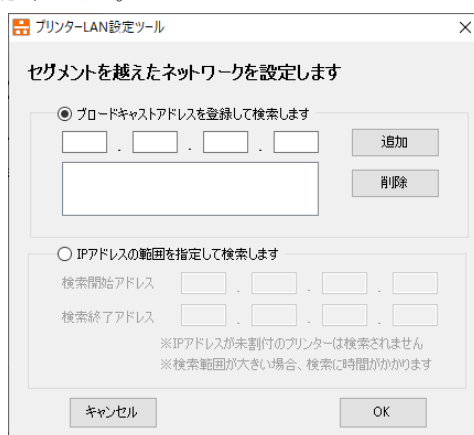
- 4 プリンターを検索する画面が表示されます。

5 検索結果から、設定を行うプリンターを選択し、[次へ]をクリックします。



ガイド

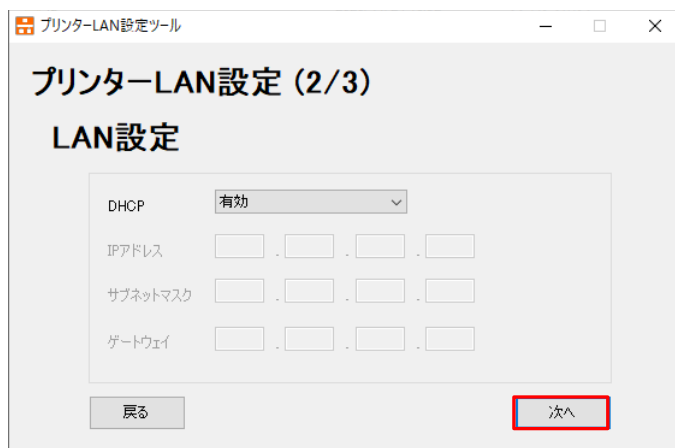
- ・ プリンターが見つからないときは、再度[検索]ボタンをクリックします。
 - ・ MAC アドレスは、LAN カードのシール表示を確認してください。
 - ・ DHCP サーバーのない環境下で、DHCP="有効"に設定しているプリンターを検索したときは、IP アドレスに 0.0.0.0 と表示されます。
 - ・ 本ツールと異なるネットワークにあるプリンターの検索/設定を行うときは、[ネットワーク設定]ボタンをクリックします。
- 下記画面が表示されますので、検索方法を選択してください。
 検索方法は、検索/設定するプリンターが属するネットワークのブロードキャストアドレスを登録して検索する方法と、IP アドレスの範囲を指定して検索する方法があります。
 検索する IP アドレスを入力し、[OK]ボタンをクリックすると検索を開始します。
 追加するブロードキャストアドレスや検索範囲については、ネットワーク管理者にご確認ください。



- ・ ブロードキャストアドレスを登録して検索します
 IP アドレス入力部に検索するブロードキャストアドレス(例: 192.168.30.255)を入力し、[追加]ボタンをクリックして登録します。
 ※ ブロードキャストアドレスは、最大 50 個まで追加(登録)できます。
 ※ 登録済のブロードキャストアドレスを選択して[削除]をクリックすると、登録を解除することができます。
 ※ 追加(登録)数が多いと、検索に時間を要す場合があります。
- ・ IP アドレスの範囲を指定して検索します
 検索開始アドレス(例: 172.16.3.1)と検索終了アドレス(例: 172.16.253.254)を入力します。
 ※ 本方法では、IP アドレス未割付のプリンター(LAN カード: PR-LN4S)は検索されません。
 ※ 検索可能総数はアドレスクラス B 相当(65534)で、これを上回る範囲を指定したときは、エラーが表示されます。
 ※ 検索範囲が大きいと検索に時間を要す場合があります。

6 IPアドレスを設定します。

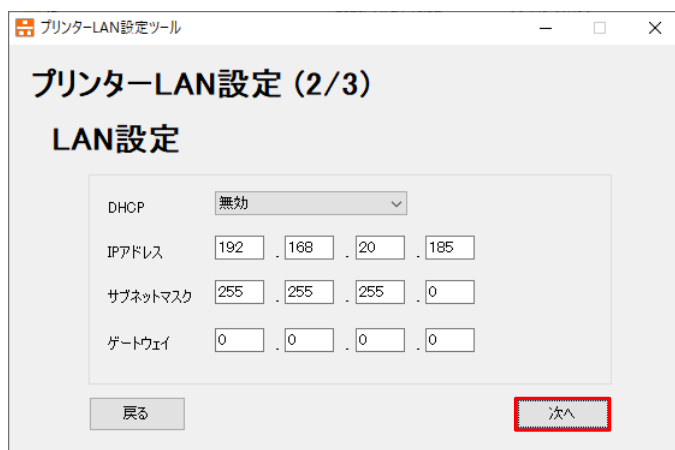
- ・ DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するとき



The screenshot shows the 'Printer LAN Setting (2/3)' window. The title bar says 'プリンター-LAN設定ツール'. The main title is 'プリンター-LAN設定 (2/3)' and the subtitle is 'LAN設定'. There is a section for DHCP settings. The 'DHCP' dropdown menu is set to '有効' (Enabled). Below it are four input fields for 'IPアドレス', 'サブネットマスク', and 'ゲートウェイ', each with a placeholder box. At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and '次へ' (Next), with '次へ' highlighted by a red rectangle.

DHCP を“有効”にして、[次へ]をクリックします。

- ・ 手動でIPアドレスを設定するとき



The screenshot shows the 'Printer LAN Setting (2/3)' window. The title bar says 'プリンター-LAN設定ツール'. The main title is 'プリンター-LAN設定 (2/3)' and the subtitle is 'LAN設定'. There is a section for DHCP settings. The 'DHCP' dropdown menu is set to '無効' (Disabled). Below it are four input fields for 'IPアドレス', 'サブネットマスク', and 'ゲートウェイ', each with a placeholder box. At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and '次へ' (Next), with '次へ' highlighted by a red rectangle.

DHCP を“無効”にします。
お使いの環境に合わせ、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定して、[次へ]をクリックします。

7 設定内容を確認して、[実行]をクリックします。

- ・DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するとき

プリンター-LAN設定ツール

プリンター-LAN設定 (3/3)

LAN設定確認

DHCP	有効
------	----

戻る 実行

- ・手動でIPアドレスを設定するとき

プリンター-LAN設定ツール

プリンター-LAN設定 (3/3)

LAN設定確認

DHCP	無効
IPアドレス	192.168.20.185
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	0.0.0.0

戻る 実行



ガイド

設定内容に誤りがあったときや IP アドレスの変更を行うときは、[戻る]をクリックして設定し直してください。

8 プリントサーバー (LANカード:PR-LN4S) に設定されている rootパスワード を入力し、[OK]をクリックします。

プリンター-LAN設定ツール

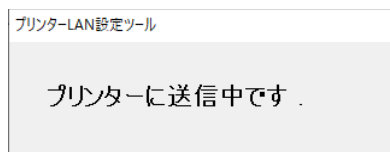
rootパスワードを入力してください。

パスワード

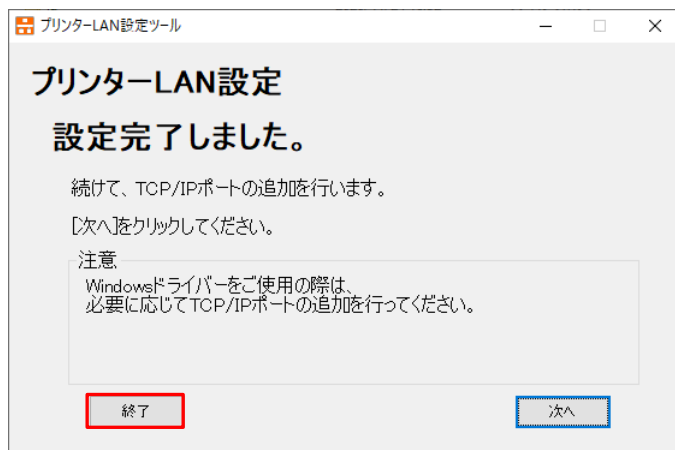
* 工場出荷時設定の場合は、パスワードは設定されていませんので、blankのままとしてください。

OK

- 9 下記画面が表示されます。 設定が終了するまで、少しお待ちください。



- 10 下記画面が表示されたら設定完了です。[終了]をクリックします。



ガイド

- ・ 続けて、プリンター専用 TCP/IP ポートを作成するときは、[次へ]をクリックします。
『3. 2. 2 プリンター専用 TCP/IP ポートの追加』の手順 3. (18 ページ)の画面が表示されます。
- ・ IP アドレス以外に、更に詳しい設定変更を行うときは、Web ブラウザー経由で設定することができます。(『5. Web ブラウザーで設定する』(33 ページ)参照)

3.2.2 プリンター専用 TCP/IP ポートの追加

ここでは、「PR-LN4S 設定ツール」を使用し、LAN カード (PR-LN4S) のプリンター専用 TCP/IP ポートの追加方法について説明します。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[許可] または [はい] をクリックしてください。

注 1) プリンター専用 TCP/IP ポートは SSL (セキュア) 印字に対応していません。
SSL 印字を行うときは、『4 Windows 標準の印刷クライアント機能で印字する』(23 ページ) を参照してください。

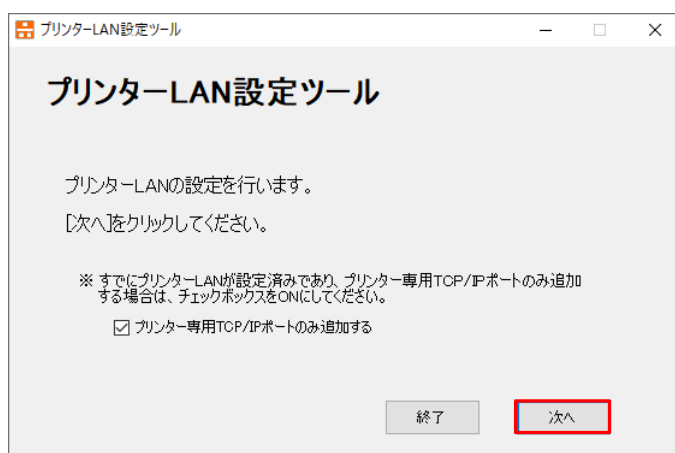
- 1 すべてのプログラムから、「fit7000proシリーズユーティリティ」→「PR-LN4S設定ツール」をクリックします



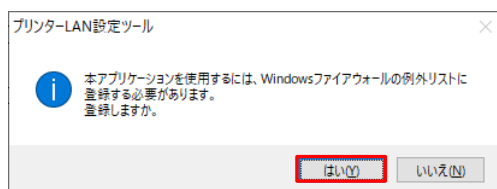
ガイド

- ・ Windows11 / 2025 の場合、すべてのアプリから、「PR-LN4S 設定ツール」をクリックします。
- ・ 画面の表示方法は、『1.2 本書中の表記について』-「■すべてのプログラム (アプリ)」(4 ページ) を参照してください。

- 2 下記画面が表示されますので、「プリンター専用TCP/IPポートのみ追加する」にチェックを付けて、[次へ] をクリックします。

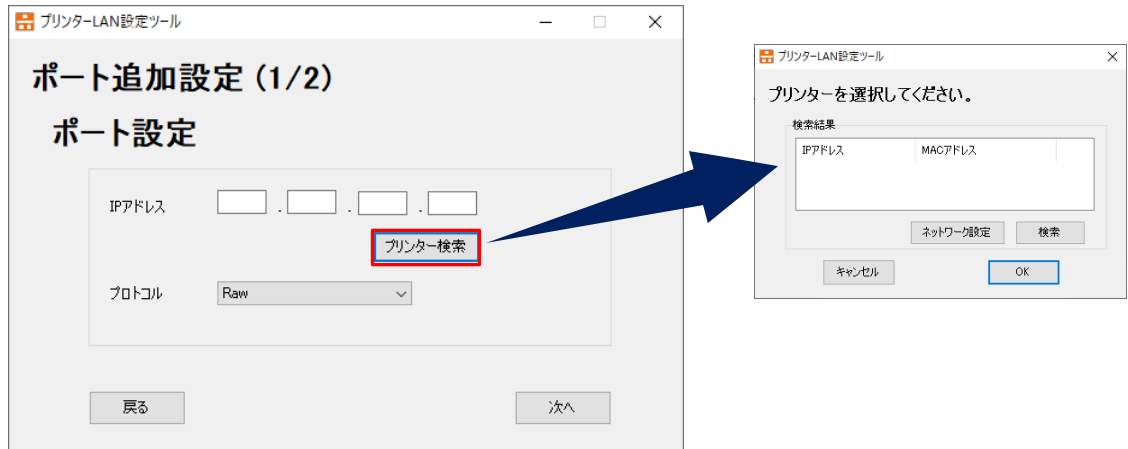


- 3 [はい] をクリックします。



4 [プリンター検索]をクリックします。

複数プリンターが検索されたときは、選択画面が表示されますので、プリンター専用TCP/IPポートを作成するIPアドレスを選択します。



ガイド

- IP アドレスの設定に続けてプリンター専用 TCP/IP ポートの作成を行ったときは、本画面は表示されません。
- 本ツールと異なるネットワークにあるプリンターの検索を行うときは、[ネットワーク設定]ボタンをクリックします。
[ネットワーク設定]については、『3.2.1 IP アドレス設定』 手順 5 のガイド(14 ページ)を参照してください。

5 [次へ]をクリックします。



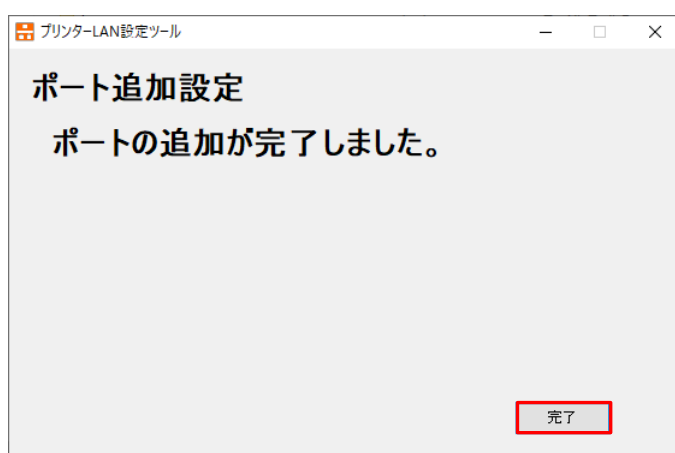
6 設定内容を確認して、[実行]をクリックします。



ガイド

設定内容に誤りがあったときや IP アドレスの変更を行うときは、[戻る]をクリックして設定し直してください。

7 下記画面が表示されたら設定完了です。[完了]をクリックします。



ガイド

「PR-LN4S 設定ツール」を使用してプリンターポートを追加したときは、Windows プリンタードライバのポート設定を変更する必要があります。
変更方法は、『3.2.3 プリンターポートの変更』（21 ページ）を参照してください。

3.2.3 プリンターポートの変更

ここでは、プリンターポートの変更方法について、Windows 10 環境の FIT fit7450Pro (sp) プリンタードライバーの画面例で説明します。

異なるモデルをお使いのときは、お使いのモデルに読み替えてください。

1 プリンターフォルダーを開きます。



ガイド

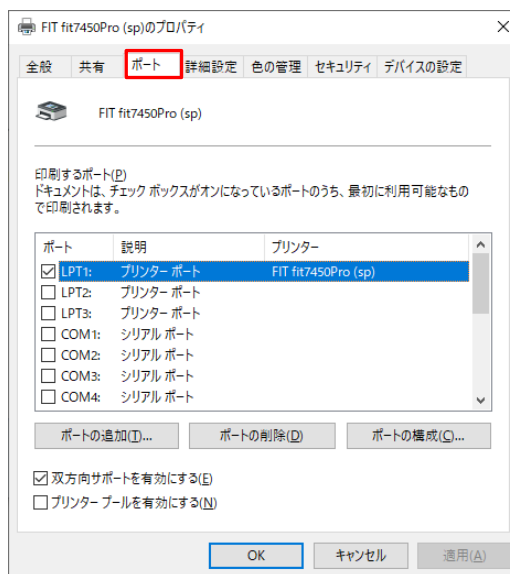
- ・プリンターフォルダーの開き方

「スタート」→「Windows システムツール」→「コントロールパネル」を選択します。

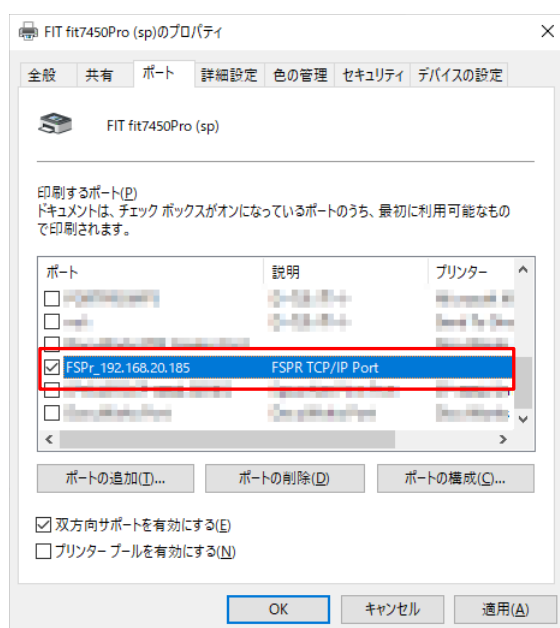
「コントロールパネル」が表示されたら、「ハードウェアとサウンド」部にある

「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

2 「FIT fit7450Pro (sp)」プリンタードライバーのプロパティ画面を開き、「ポート」シートを表示します。



3 「印刷するポート」の一覧から、作成したプリンター専用TCP/IPポートを選択します。



4 [適用]をクリックします。これでプリンターポートの変更は終了です。

4 Windows 標準の印刷クライアント機能で印字する

本章では、Windows 標準の印刷クライアント機能を利用して印字する方法について、Windows 10の画面例で説明します。

- 注 1) ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタードライバーをインストールしてください。
- 注 2) Windows 10 以外をお使いの場合、画面や手順が異なる場合があります。
そのときは、画面の指示に従って設定してください。
- 注 3) Windows 標準の印刷クライアント機能では、プリンターユーティリティ（ステータスマニター、リモートパネル）は動作しません。

4.1 Standard TCP/IP ポートで印字する

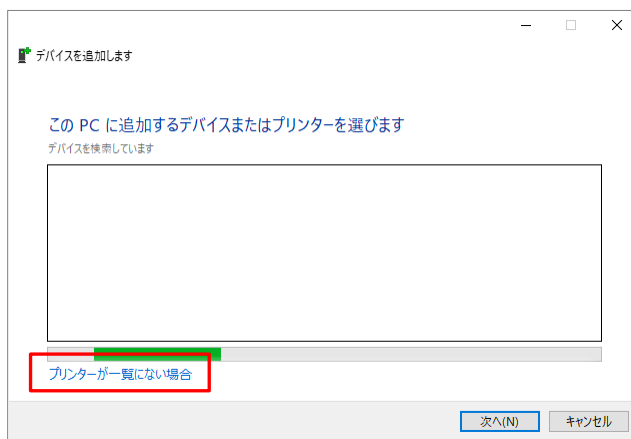
- 1 プリンターの追加画面を開き、「プリンターの追加」をクリックします。



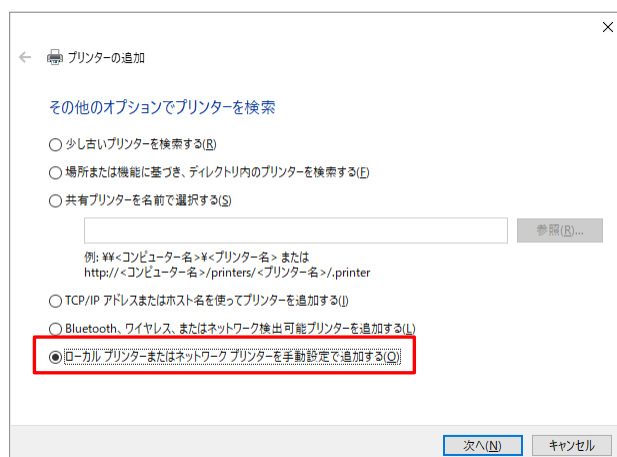
ガイド

- 画面の表示方法は、『1.2 本書中の表記について』-「■プリンターの追加」（4 ページ）を参照してください。
- Windows 11 / 2025 のときは、「プリンターとスキャナー」画面の[デバイスの追加]をクリックし、「プリンターが一覧にない場合」の「手動で追加」または「新しいデバイスの追加」をクリックします。
手順 3. に進みます。

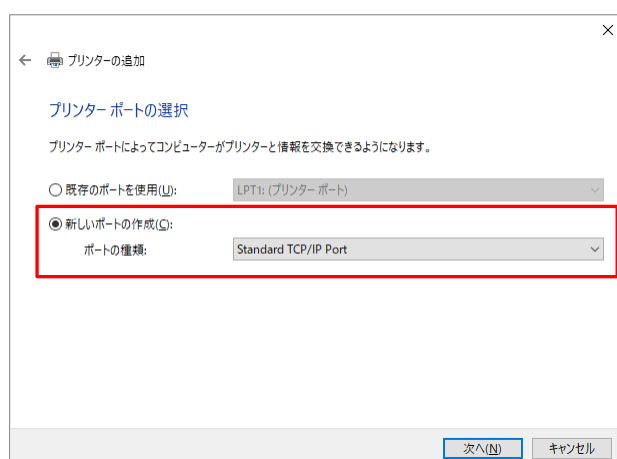
- 2 「プリンターが一覧にない場合」をクリックします。



- 3 「ローカルプリンターまたは、ネットワークプリンターを手動で追加する (0)」を選択し、[次へ]をクリックします。



- 4 「新しいポートの作成」にチェックを付け、ポートの種類は “Standard TCP/IP Port” を選択し [次へ]をクリックします。



- 5 「ホスト名またはIPアドレス」にLANカード (PR-LN4S) に設定したIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

← プリンターの追加

ホスト名または IP アドレスを入力します

デバイスの種類(D): TCP/IP デバイス

ホスト名または IP アドレス(A): 192.168.20.185

ポート名(P): 192.168.20.185

☒ プリンターを照会して、使用するプリンター ドライバーを自動的に選択する(Q)

次へ(N) キャンセル



ガイド

- ・ ポート名を規定値にした場合、“IP_” は付きません。
- ・ 「プリンターを照会して、使用するプリンター ドライバーを自動的に選択する」は、チェック状態としてください。
- ・ 「TCP/IP ポートの検出」画面が表示されます。検出が終わるまでお待ちください。

- 6 「カスタム」にチェックを付け、[設定]をクリックします。

← プリンターの追加

追加のポート情報が必要です

デバイスがネットワーク上に見つかりません。以下の点を確認してください:

1. デバイスがオンになっている。
2. ネットワークが接続されている。
3. デバイスが正しく構成されている。
4. 前のページのアドレスが正確である。

アドレスが間違っていると考えられる場合は、[戻る] をクリックして、前のページに戻り、アドレスを修正し、ネットワークで別の検索を実行してください。アドレスが確実に正確である場合は、次のデバイスの種類を選択してください。

デバイスの種類

☐ 標準(S) Generic Network Card

☒ カスタム(C) 設定(E)...

次へ(N) キャンセル

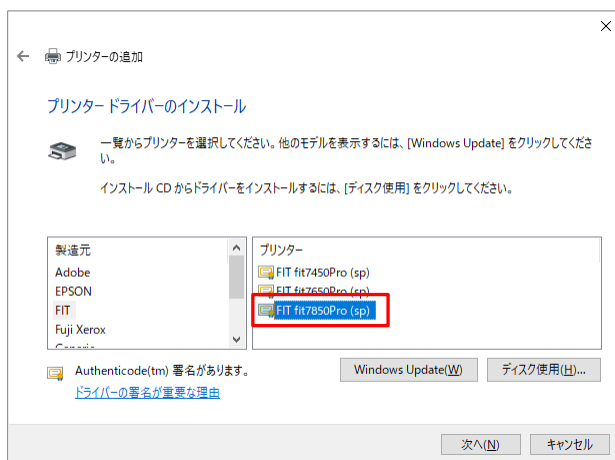
7 「Raw (R)」にチェックを付け、[OK]をクリックします。



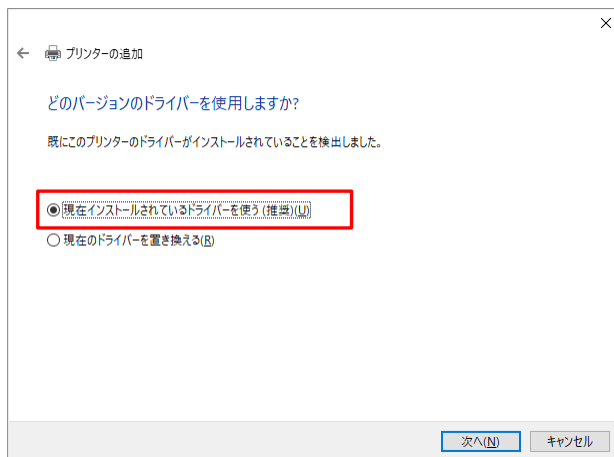
ガイド

- ・ 「SNMP ステータスを有効にする (S)」はチェックを付けないでください。
- ・ [OK]をクリックすると、手順 6. の画面に戻ります。[次へ]をクリックします。

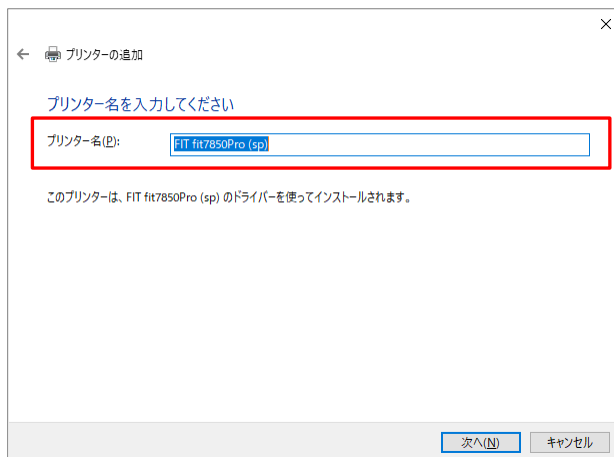
8 プリンタードライバーを選択し、[次へ]をクリックします。



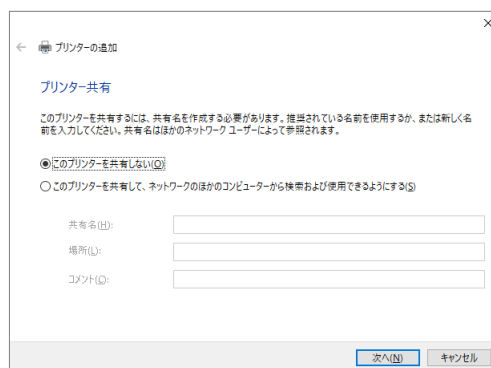
9 「現在インストールされているドライバーを使う(推奨)(U)」を選択し、[次へ]をクリックします。



10 プリンター名を入力し、[次へ]をクリックします。

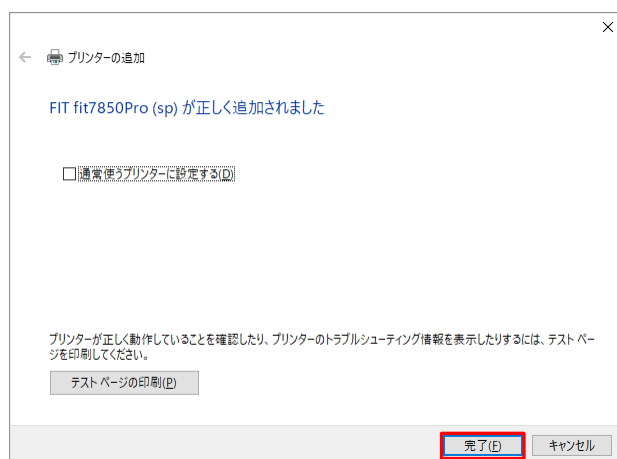


ガイド



「プリンター共有」画面が表示されたときは、必要に応じてプリンターの共有設定を行ってください。同じネットワーク内にある、ほかのパソコンからこのプリンターをお使いになるときは、「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする(S)」を選択します。

11 [完了]をクリックします。



ガイド

必要に応じ、通常使うプリンターの設定、テストページの印字を行ってください。

12 これで、Standard TCP/IPポートで印字する方法は完了です。

4.2 IPP ポートで印字する

- 注 1) 「インターネット印刷クライアント」をインストールしてください。
インストール方法は、ネットワーク管理者またはシステム管理者にご確認ください。
- 注 2) SSL (セキュア) 印字を行うときは、予め SSL 証明書を作成し、お使いのパソコンにインストールしてください。
SSL 証明書作成方法、パソコンへのインストール方法は、SSL 証明書の作成方法は、『5.5 SSL 証明書の作成とインストール』(41 ページ)を参照してください。
- 注 3) ポートの URL に IPv6 アドレスを指定したとき、セグメントの異なるプリンターへの印字には対応していません。
セグメントの異なるプリンターへ印字するときは、ポートの URL を IPv4 アドレスとしてください。

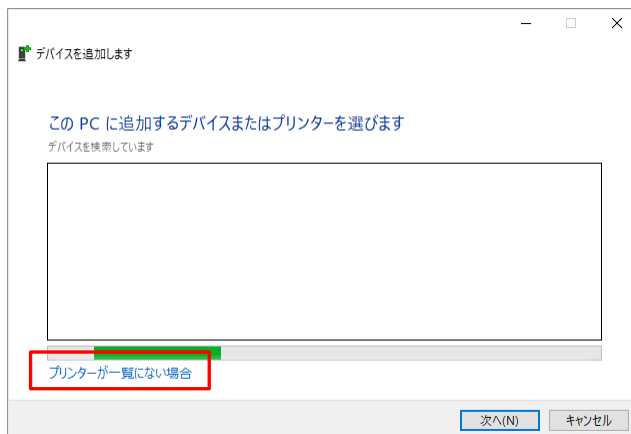
1 プリンターの追加画面を開き、「プリンターの追加」をクリックします。



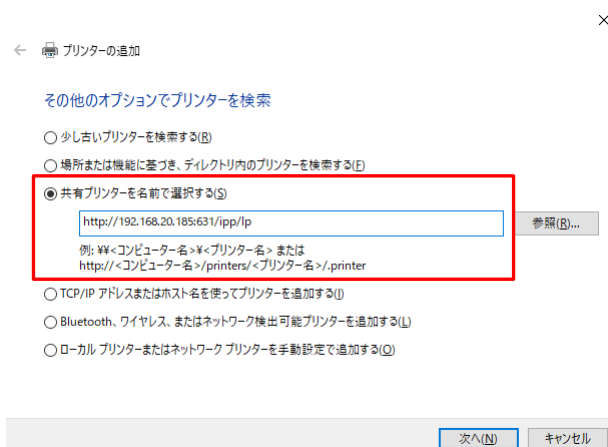
ガイド

- 画面の表示方法は、『1.2 本書中の表記について』-「■プリンターの追加」(4 ページ)を参照してください。
- Windows 11 / 2025 のときは、「プリンターとスキャナー」画面の[デバイスの追加]をクリックし、「プリンターが一覧にない場合」の「手動で追加」または「新しいデバイスの追加」をクリックします。
手順 3. に進みます。

2 「プリンターが一覧にない場合」をクリックします。



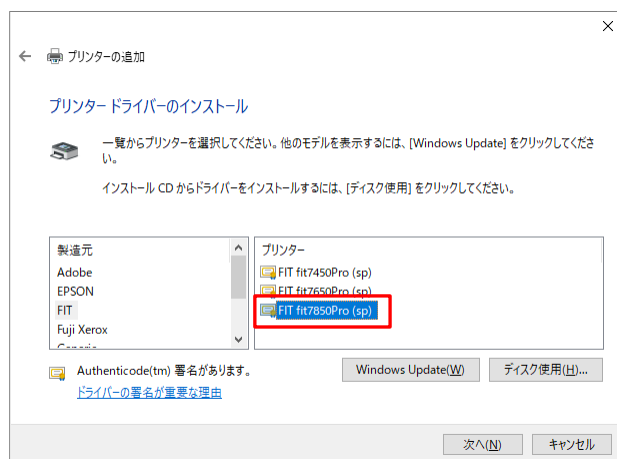
3 「共有プリンターを名前で選択する(S)」を選択し、http:// に続けて本製品のIPアドレスとポート番号(:631)/ipp/lp を入力します。



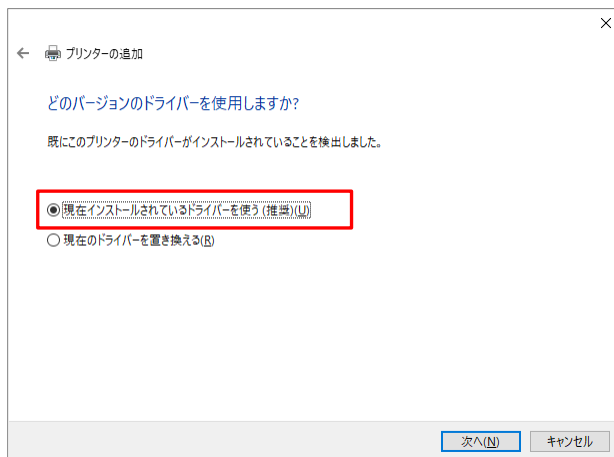
ガイド

- ・ポート番号を指定しないと、エラーが表示され、次の画面に進みません。
また、80 番ポート(:80)は使用できません。
- ・SSL(セキュア)印字を行うときは、“http://”を“https://”に変更してください。
また、ポート番号の入力は不要ですが、指定するときは :443 と入力してください。
“http://”とすると、SSL(セキュア)印字を行うことができません。
- ・SSL(セキュア)印字を使用するには、予め SSL 証明書情報を本製品、およびパソコンに設定してください。
- ・SSL 証明書の作成方法は、『5. 4. 2 SSL 証明書作成』(38 ページ)を参照してください。

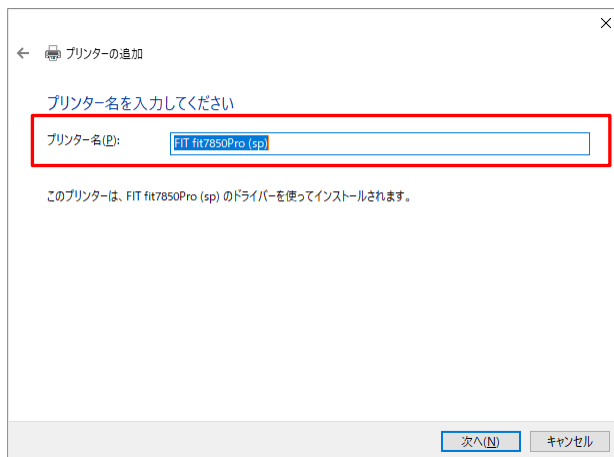
4 プリンタードライバーを選択し、[次へ]をクリックします。



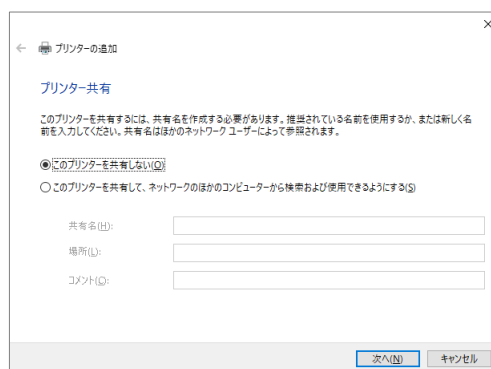
5 「現在インストールされているドライバーを使う (推奨) (U)」を選択し、[次へ]をクリックします。



6 プリンター名を入力し、[次へ]をクリックします。

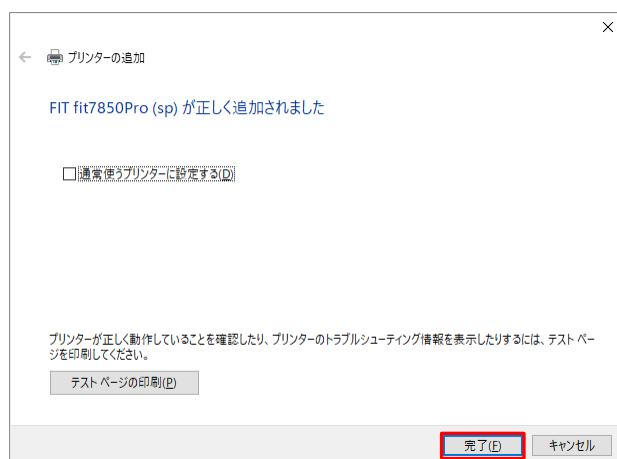


ガイド



「プリンター共有」画面が表示されたときは、必要に応じてプリンターの共有設定を行ってください。同じネットワーク内にある、ほかのパソコンからこのプリンターをお使いになるときは、「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする (S)」を選択します。

7 [完了]をクリックします。



ガイド

必要に応じ、通常使うプリンターの設定、テストページの印字を行ってください。

8 これで、IPPポートで印字する方法は完了です。

5 Web ブラウザーで設定する

本章では、Web ブラウザーを利用して、LAN カード (PR-PN4S) の詳細な設定を行う方法について説明します。LAN カード (PR-PN4S) は、HTTP プロトコルを搭載していますので、Web ブラウザーを利用した詳細な設定、および設定内容の変更を行うことができます。

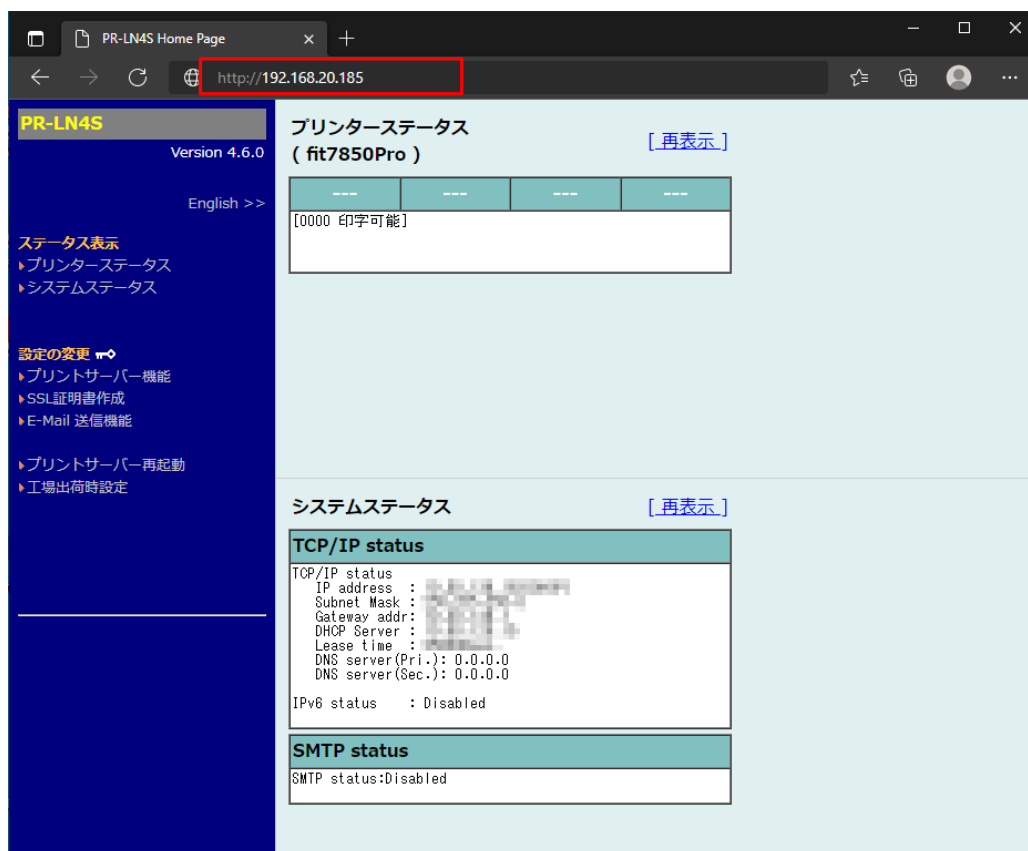
また、リモートで再起動を行うことができます。

- 注 1) Web ブラウザーを利用する場合、本製品の TCP/IP プロトコル設定が有効であり、IP アドレスが設定されている必要があります。
- 注 2) Web ブラウザーは、Microsoft Edge、Google Chrome、Internet Explorer 6.0 以降のバージョンを推奨します。また、ご利用になる Web ブラウザーによって多少表示が異なる場合があります。
- 注 3) Web ブラウザーで設定変更を行った場合は、必ず「プリントサーバー再起動」を実行してください。
- 注 4) 本製品の対象機種によって、Web ブラウザーに表示される内容が異なる場合があります。

5.1 Web ページを表示する

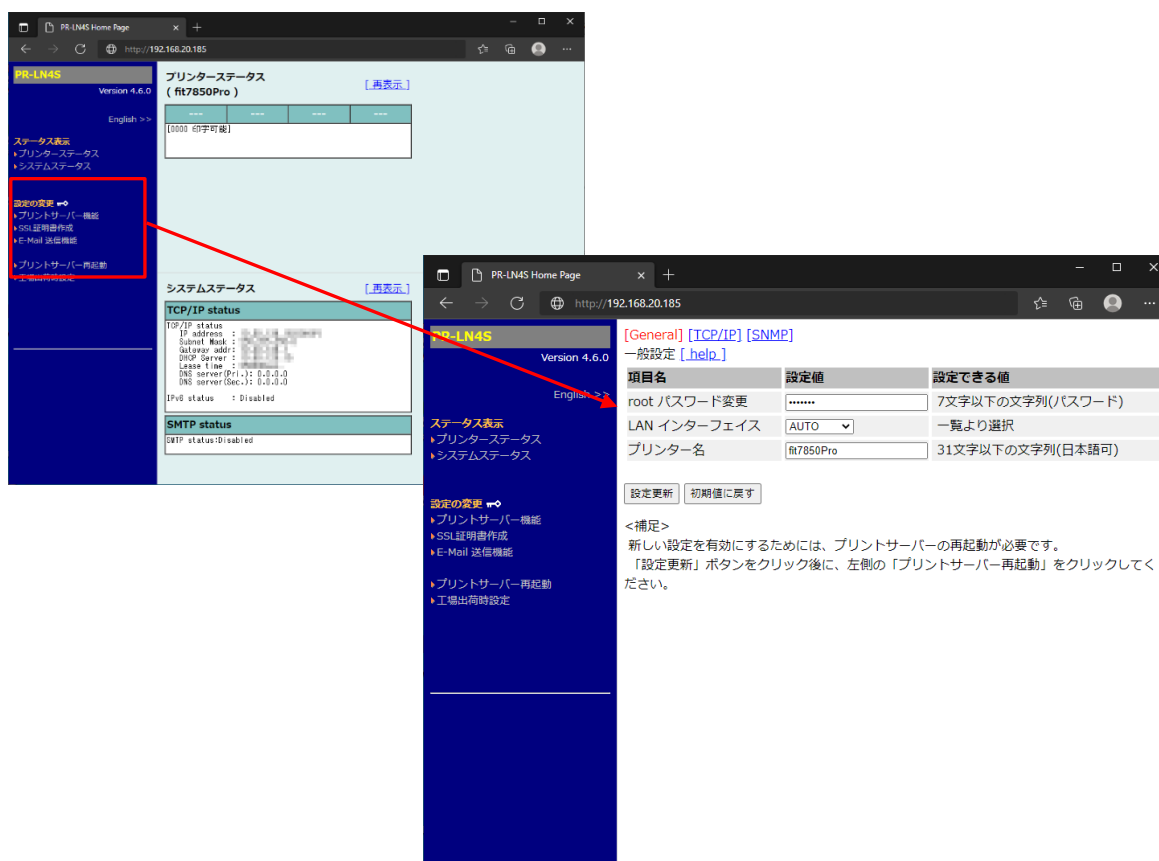
設定を行う LAN カード (PR-LN4S) に設定された IP アドレスを Web ブラウザーのアドレスバーに入力し Web ページを表示します。

例 : `http://192.168.20.185`



5.2 Web ページから設定する

Web ブラウザーに表示されている項目から設定したい項目をクリックすると、設定Web画面が表示されます。必要な項目に設定値を入力してください。



5.3 Web ページメニュー構成

ステータス表示	プリンターステータス	プリンターの状態を表示します。
	システムステータス	PR-LN4S の設定情報を表示します。
設定の変更	プリントサーバー機能	各種設定を行ないます。
	SSL 証明書作成	SSL 証明書を作成します。
	E-Mail 送信機能	E-Mail 送信設定を行ないます。
	プリントサーバー再起動	PR-LN4S の再起動を行ないます。
	工場出荷時設定	工場出荷時設定にします。

- 注 1) 設定変更の項目へ移るとき、ユーザー名を入力する画面が表示されたときは、“root”を入力してください。
- 注 2) 設定更新「送信」により設定を更新したときは、「プリントサーバー再起動」を行い、本製品を再起動してください。
- 注 3) 初期化について・・・
「工場出荷時設定」をクリックすると、本製品を工場出荷時設定に戻します。
「工場出荷時設定」実行したら、「プリントサーバー再起動」を行い、本製品を再起動してください。

5.4 設定項目

5.4.1 プリントサーバー機能

■ 一般設定

ネットワークの一般的な設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
root パスワード変更	本製品の管理者パスワードをASCII文字列で設定します。 このパスワードは、Webページにて設定変更の認証パスワードとして使用されます。	なし
LAN インターフェイス	物理ネットワークの種別を設定します。 通常はAUTOのまま使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続されるHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。	AUTO
プリンター名	プリンター名を設定します。 (未設定時は、搭載プリンター名を仮表示します)。	なし

■ TCP/IP設定

IPアドレスなど、TCP/IPプロトコルを使用するための設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
DHCP	DHCPプロトコルの有効 (ENABLE) / 無効 (DISABLE) を設定します。 DHCPは起動時に、DHCPサーバーよりIPアドレスの取得を行うプロトコルです。本製品のIPアドレスをDHCPによって設定するためには、サブネットワーク内に適切に設定されたDHCPサーバーが稼動していなければなりません。	ENABLE
IPアドレス	本製品のIPアドレスを設定します。 設定値は、10進数4桁で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを設定します。 設定値は、10進数4桁で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、IPアドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	本製品のゲートウェイのIPアドレスを設定します。 設定値は、10進数4桁で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。ゲートウェイは本製品と同じサブネットワーク内に存在しなければなりません。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になります。	0.0.0.0
IPv6機能	IPv6機能の有効 (ENABLE) / 無効 (DISABLE) を設定します。	DISABLE
タイムアウト	アイドル状態の通信に対するタイムアウト値を秒単位で設定します。 「0」を設定するとこの項目は無効になります。	120

注 1) DHCP“無効”(SW1=ON)で、設定初期化(SW2=ON)したときのIPアドレス初期値は、192.168.192.168、サブネットマスクは、255.255.255.0です。

■ DNS設定

DNSサーバーの設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
プライマリーサーバー	DNSサーバー(プライマリー)のアドレスを設定します。 SMTPサーバー名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。設定値は、10進数4桁で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
セカンダリーサーバー	物理ネットワークの種別を設定します。 通常はAUTOのまま使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続されるHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。	0.0.0.0

■ IP Filter設定

IPフィルタリングの設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
動作モード	フィルターの動作を設定します。 設定には「allow」と「deny」があり、「allow」にすると設定したIPアドレス範囲からのみデータを受けとります。「deny」にすると設定したIPアドレス範囲からのデータを受けとりません。	DENY
フィルター #0 開始アドレス フィルター #1 開始アドレス フィルター #2 開始アドレス フィルター #3 開始アドレス	IPフィルターの先頭アドレスを設定します。 設定値は、10進数4桁で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
フィルター #0 終了アドレス フィルター #1 終了アドレス フィルター #2 終了アドレス フィルター #3 終了アドレス	IPフィルターの終了アドレスを設定します。 設定値は、10進数4桁で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0

■ SNMP設定

SNMPの設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
認証コミュニティ名	SNMPの認証コミュニティ名を設定します。 このコミュニティ名はSNMP Set Requestを受け付けるときに認証されます。	public
Trapコミュニティ名	SNMPのトラップコミュニティを設定します。 このコミュニティ名は本製品がトラップを発行するときに使用されます。	public
Trap通知先アドレス	SNMPトラップの送信先IPアドレスを設定します。 設定値は、10進数4桁で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。	0.0.0.0
SysContact	MIB-IIオブジェクトのSysContactを設定します。 通常は管理者のメールアドレスを設定しておきます。	なし
SysName	MIB-IIオブジェクトのSysNameを設定します。 通常は本製品のホスト名またはドメイン名を設定しておきます。	なし
SysLocation	MIB-IIオブジェクトのSysLocaitonを設定します。 通常は本製品のある場所を設定しておきます。	なし
EnableAuthenTrap	MIB-IIオブジェクトのEnableAuthenTrapを許可(1)/禁止(2)で設定します。 許可に設定すると、SNMPでコミュニティ違反が発生した時、SNMPトラップが「Trap通知先アドレス」で設定したIPアドレスに向けて発信されます。	2
詳細ステータス	プリンターからの詳細なステータスをHost Resource MIBに反映します。	OFF

注 1) 認証コミュニティ名は、「●●●●●●●●」と表示されますが、工場出荷時の設定は「public」です。

注 2) 認証コミュニティ名を変更しても、“public”はRead-only(読み出し権限)として有効化されています。

5.4.2 SSL 証明書作成



ガイド

- SSL 証明書設定の前に、本製品の IP アドレス設定を行ってください。
- [証明書作成] ボタンをクリックしたら、SSL 設定を有効化するために、本製品を再起動する必要があります。「プリントサーバー再起動」－「Yes」をクリックします。
- 証明書作成に多少時間がかかる場合があります。
[証明書作成] ボタンをクリックした後、「証明書作成中…」の表示が消えるまでお待ちください。
- SSL(セキュア)印字は、「IPP ポート」のみ対応しています。「IPP ポート」以外の印刷ポートでは、SSL 印字を行うことができません。
また、「IPP ポート」で SSL 印字を行うときの URL は、「https://プリンターの IP アドレス/ipp/lp」、または「https://プリンターの IP アドレス:443/ipp/lp」と指定してください。「http」と指定すると、SSL 印字を行うことができません。

■ 証明書情報設定

SSL機能を使用するための証明書情報を作成します。

項目	設定内容	工場出荷設定
国/地域コード	国/地域コードを入力します。 例) JP(日本), US(米国), CN(中国)	なし(空欄可)
都道府県名	都道府県名を入力します。 例) Fukushima	なし(空欄可)
市区町村名	市区町村名を入力します。 例) Date-shi	なし(空欄可)
組織名	組織を入力します。 例) FUJITSU ISOTEC LIMITED.	なし(空欄可)
部門名	部門を入力します。 例) Sales Department	なし(空欄可)
一般名	一般名として、プリンターのIPアドレスを入力します。 例) 192.168.20.185	なし
メールアドレス	メールアドレスを入力します。	なし(空欄可)

注 1) [証明書作成] ボタンをクリックすると、無効な文字が入力されている項目名を表示します。

注 2) IPv6 でプリンターの IP アドレスを設定しているときは、一般名の IP アドレスを [] (角かっこ) で括ってください。

例) [FE80::xxxx:xxxx:xxxx:xxx] ※ xxxx は本製品の IPv6 アドレス
IPv6 アドレスは、PR-LN4S 設定 Web ページのシステムステータスで確認してください。

注 3) メールアドレスとして入力可能な文字列は、記号を除く半角英数カナのみです。

■ 有効期限設定

SSL機能を使用するための証明書情報を作成します。

項目	設定内容	工場出荷設定
発行日	現在時刻を取得して協定世界時(UTC)で表示します。 本設定は変更できません。	現在時刻
有効期限日	証明書の有効期限を設定します。	2049/12/31 23:59:59

■ 証明書ダウンロード

[証明書ダウンロード] ボタンをクリックして、作成した証明書をダウンロードします。

注 1) 証明書のインストールについて . . .

ダウンロードした証明書をダブルクリックすると、証明書インストール画面が表示されます。

[証明書のインストール] ボタンをクリックし、「保存場所：ローカルコンピューター」、「証明書ストア：信頼されたルート証明機関」を選択してインストールしてください。

注 2) Internet Explorer をお使いの場合、証明書ダウンロードができない場合があります。

そのときは、Microsoft Edge、Google Chrome などのブラウザを使用して証明書をダウンロードしてください。

5.4.3 E-Mail 送信機能

■ 基本設定

SMTPの設定を行います。

項目	設定内容	工場出荷設定
SMTPプロトコルを使用する	SMTPプロトコルの動作を禁止／許可します。 動作禁止にするとE-Mailの送信機能が停止します。	DISABLE
SMTPサーバー名	SMTPサーバーのホスト名を設定します。 ホスト名にはドメイン名またはIPアドレスを入力します。 ドメイン名を使用する場合はDNSサーバーの設定が必要です。	なし
SMTPポート番号	SMTPポート番号を設定します。 通常はデフォルト値(25)のまま使用してください。	25
送信元アドレス	送信元のアドレスを設定します。 通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。	なし
署名1行目 署名2行目 署名3行目 署名4行目	メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します。	<pre> "----- " " PR-LN4S" " [CC:B3:F8:XX:XX:XX] " "----- "</pre>

■ 送信アドレス1/送信アドレス2設定

送信条件の設定を行います。

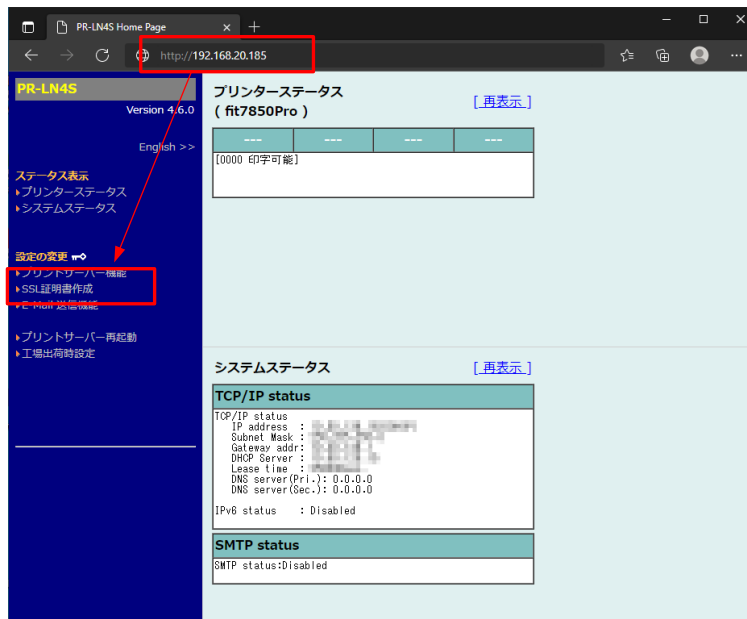
項目	設定内容	工場出荷設定
送信先アドレス	送信先のメールアドレスを設定します。	なし
チェック間隔(分)	イベントの記録があるかを一定間隔でチェックします。 この間隔を分単位で設定します。この間隔内に1つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。	10
オフライン 紙切れ プリンター異常	メールにて通知するプリンタステータスをON/OFFで設定します。	OFF

5.5 SSL 証明書の作成とインストール

注 1) ここでは、Windows 10、ブラウザーは、Microsoft Edge で説明します。
Windows オペレーティングシステムや、お使いのブラウザーによっては、表示内容や手順が異なる場合があります。

- 1 設定を行うLANカード (PR-LN4S) に設定されたIPアドレスをWebブラウザーのアドレスバーに入力しWebページを表示します。
設定画面が表示されたら、「SSL証明書作成」をクリックします。

例 : `http://192.168.20.185`



- 2 ユーザー名とパスワードを入力し、[サインイン]をクリックします。

このサイトにアクセスするにはサインインしてください
 [ユーザー名] [パスワード] には認証が必要となります
 このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザー名

パスワード



ガイド

- ・ ユーザー名は、“root” と入力して下さい。
root パスワードを設定しているときは、設定しているパスワード(文字列)を入力して下さい。

- 3 一般名に本製品のIPアドレスの入力、および有効期限日を設定し、[証明書作成] ボタンをクリックします。

PR-LN4S Home Page

Version 4.6.0

English >>

ステータス表示
 プリンターステータス
 システムステータス

設定の変更
 プリントサーバー機能
 SSL証明書作成
 E-Mail 送信機能
 プリントサーバー再起動
 工場出荷時設定

[証明書情報設定] [有効期限設定] [証明書ダウンロード]
 証明書情報設定 [help]

項目名	設定値	設定できる値
国/地域コード		2文字の文字列(空欄可)
都道府県名		128文字以下の文字列(空欄可)
市区町村名		128文字以下の文字列(空欄可)
組織名		64文字以下の文字列(空欄可)
部門名		64文字以下の文字列(空欄可)
一般名(本製品のIPアドレス)	192.168.20.185	64文字以下の文字列(本製品のIPアドレス)
メールアドレス		128文字以下の文字列(空欄可)

有効期限設定 [help]

項目名	設定値	設定できる値
発行日	2021 / 09 / 07 06 : 41 : 36 UTC	変更不可
有効期限日	2049 / 12 / 31 23 : 59 : 59 UTC	整数値

[証明書作成] 初期値に戻す

<補足>
 新しい証明書を有効にするためには、プリントサーバーの再起動が必要です。
 「証明書作成」ボタンをクリック後に、左側の「プリントサーバー再起動」をクリックしてください。



ガイド

- ・[証明書作成] ボタンをクリックすると、無効な文字が入力されている項目名を表示します。
- ・IPv6 でプリンターの IP アドレスを設定しているときは、一般名の IP アドレスを [] (角かっこ) で括ってください。
 例) [FE80::xxxx:xxxx:xxxx:xxx] ※ xxxx は本製品の IPv6 アドレス
- ・メールアドレスとして入力可能な文字列は、メールアドレスとして使用可能な記号および半角英数のみです。
- ・証明書作成に多少時間がかかる場合があります。
 [証明書作成] ボタンをクリックした後、「証明書作成中…」の表示が消えるまでお待ちください。

- 4 [証明書作成] ボタンクリック前の画面に戻ったら、「プリントサーバー再起動」をクリックします。下記画面が表示されますので、[Yes] をクリックします。

PR-LN4S Home Page

Version 4.6.0

English >>

ステータス表示
 プリンターステータス
 システムステータス

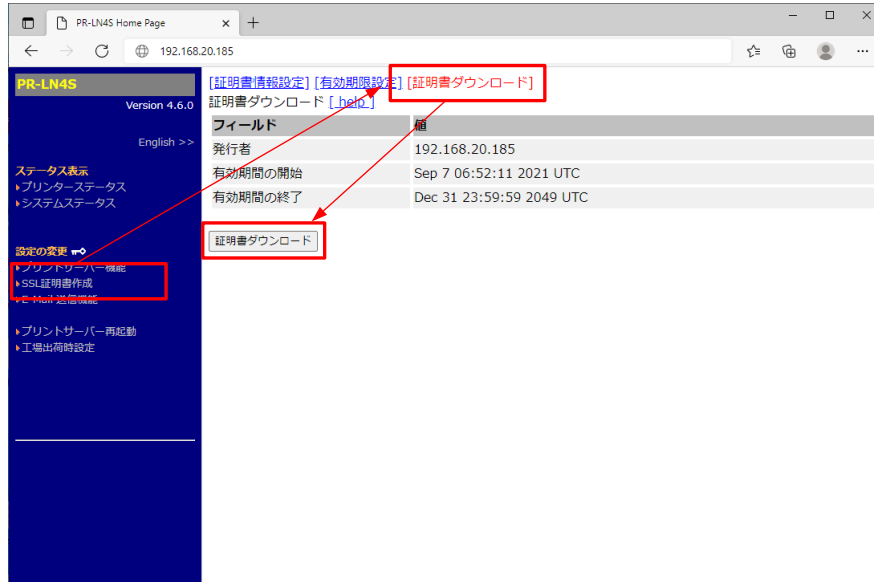
設定の変更
 プリントサーバー機能
 SSL証明書作成
 E-Mail 送信機能
 プリントサーバー再起動
 工場出荷時設定

プリントサーバーを再起動しますか？

再起動中は通信ができなくなります。ご注意ください！

Yes No

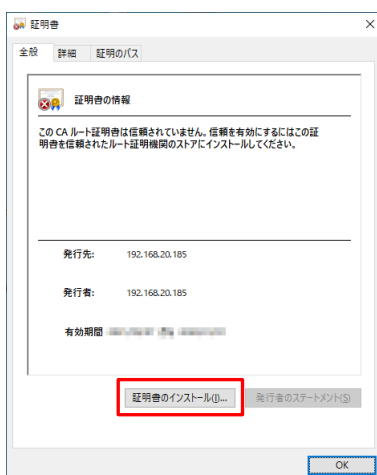
- 5 概ね 1 分経過（本製品の再起動終了）したら、F5キーを押下して、設定画面を更新（再読込）します。
- 6 「SSL証明書作成」－「証明書ダウンロード」をクリックし、[証明書ダウンロード]ボタンをクリックします。



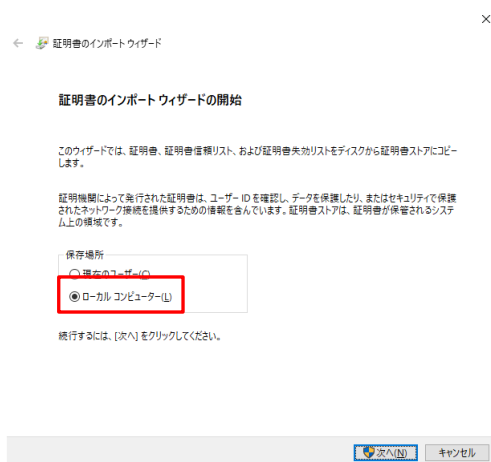
ガイド

- ・ [証明書ダウンロード]ボタンをクリックしたときに、警告メッセージが表示される場合がありますが、[保存]をクリックします。

- 7 エクスプローラーで証明書をダウンロードしたフォルダーを開き、証明書をダブルクリックします。
- 8 証明書が表示されますので、[証明書のインストール]をクリックします。



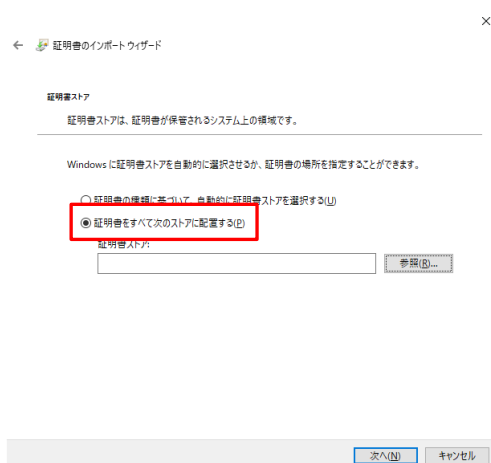
- 9 「証明書のインポートウィザード」が起動します。
「ローカルコンピューター」を選択して、[次へ]をクリックします。



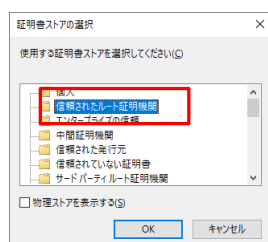
ガイド

- ・ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されますので、[はい]をクリックしてください。

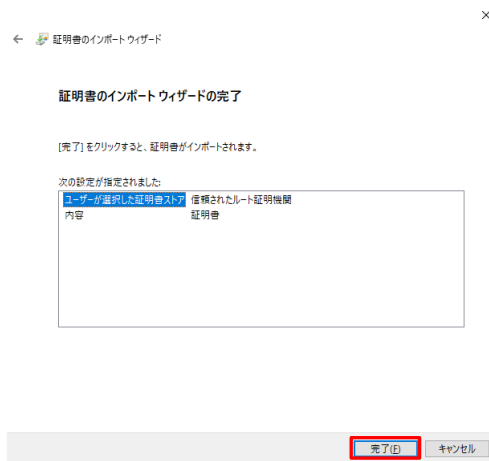
- 10 「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択し、[参照]ボタンをクリックします。



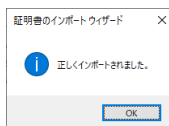
- 11 証明書ストアの選択画面が表示されますので、「信頼されたルート証明機関」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。
元の画面に戻りますので、[次へ]をクリックします。



12 証明書のインポートウィザードの完了画面が表示されますので、[完了]ボタンをクリックします。



13 「正しくインポートされました」と表示されたら、完了です。 [OK] ボタンをクリックして、証明書のインポートウィザード、および証明書画面(手順 8)を閉じます。



6 トラブルシューティング

本章では、LANカード (PR-PN4S) の導入時に想定される問題と、その解決法について説明します。

■ 文中マークの見方

[確認] : 問題が起きた時に、はじめに確認してください。

[対策] : 問題解決のための具体的な手段です。

6.1 導入時の問題

■ IPアドレスの設定を行うと通信エラーになる

[確認1]

PR-LN4S の LINK/STATUS LED が正常に点灯しているか確認してください。

- ・ プリンターの電源は ON になっていますか？
- ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・ イーサネットハブ (HUB) のポートが故障していないか確認してください。

[確認2]

設定ツールを起動しているパソコン側の IP アドレスが確定しているか確認してください。

- ・ ご使用のパソコンおよびネットワークに存在する他のパソコンと通信ができているか確認するために、コマンドプロンプトより Ping コマンドを実行してください。



ガイド

Ping コマンドの使用方法については、『Windows TCP/IP 環境での問題』－「■ 印字が行えません」の[確認 1] (50 ページ)を参照してください。

[確認3]

本製品が初期化されているか確認してください。

- ・ 本製品を工場出荷設定に戻す方法については、『5.3 Web ページメニュー構成』の「注 3) 初期化について」 (34 ページ)、または『1.5.1 各部の名称と働き』の「SW2 (設定初期化)」 (6 ページ)を参照してください。

[確認4]

本製品に不正な IP アドレスを設定している可能性があります。

- ・ ルーターやサーバーが不正な IP アドレスを設定していないか確認してください。
- ・ 不正な IP アドレスが設定された本製品は、ルーターやサーバーが存在しない環境 (パソコン 1 台、HUB 1 台、本製品が接続されたプリンター 1 台のローカル環境) を作成し、パソコンを本製品と同じセグメント内の IP アドレスに設定してから、ツールを起動して TCP/IP の設定で「IP アドレスを指定」に変更して正しい IP アドレスを設定してください。またその後、元の環境に戻してください。



ガイド

不正な IP アドレスを設定するルーターやサーバーがある場合、本製品の TCP/IP 設定を「IP アドレスを自動的に取得」にすると、自動的に不正な IP アドレスが設定され、IP アドレスの変更や初期化ができなくなります。

[確認 5]

本製品が設定ツールを起動しているパソコンと同一セグメント内に無いか、指定したブロードキャストアドレス内、または検索範囲内に無い可能性があります。

- ・ 本製品が設定を行っているパソコンと同一セグメント内にいること、および指定したブロードキャスト内、または検索範囲内にいることを確認してください。

[確認6]

本製品が取り付けられたプリンターを他のネットワークへ移設していませんか？

ネットワーク上にDHCPサーバーが存在している環境から、初期化(工場出荷設定に戻す)作業を行わない状態で、DHCPサーバーが存在しない環境へ移設した可能性があります。

- ・ 移設前の環境へ接続し、Web ページから「工場出荷設定に戻す」、または DIP スイッチを操作して初期化(工場出荷設定に戻す)作業を行ってください。

**ガイド**

本製品が取り付けられたプリンターを他のネットワークに接続するときは、事前に初期化(工場出荷設定に戻す)作業を必ず行ってください。

[確認7]

設定ツールを起動しているパソコンのネットワーク設定でプロキシを使う設定になっていないか確認してください。

- ・ プロキシにより、本製品の検索や設定が行えないときがあります。
一時的にプロキシ設定を無効にしてください。

[確認8]

設定ツールを起動しているパソコンにセキュリティソフトウェアがインストールされておりファイアウォール機能が有効になっていないか確認してください。

また、Windows ファイアウォールで例外登録されているか確認してください。

- ・ セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能により、通信が阻害されている可能性があります。一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。
また、例外登録されていないと、Windows ファイアウォールにより、通信が阻害される可能性があります。

[確認9]

本製品の起動(再起動を含む)直後やネットワークの状態により、設定ツールで本製品の検索に失敗する場合があります。再度検索を行ってください。

■ IPP/SSLの設定ができない

[確認1]

本製品のバージョン(版数)を確認してください。

- ・ IPP と SSL 印字は、バージョン V4. 6. 0 以降で対応しています。これ以前のバージョンでは対応していません。

[確認2]

IPPの場合、接続先プリンターのURLにポート番号を指定しているか確認してください。

- ・ 「http://xxx.xxx.xxx.xxx.xxx:631/ipp/lp」と指定してください。ポート番号無しでは、プリンターに接続できません。

[確認3]

SSLの場合、接続先プリンターのURLを確認してください。

- ・ 「https://」に変更してください。「http://」ではSSL印字は行えません。
- ・ ポート番号指定は不要です。指定するときは、「:443」と入力してください。

6.2 印字時の問題

■ 印字が行えません

[確認]

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

- ・ プリンターの電源は ON になっていますか？
- ・ 稼動している本製品と接続イーサネットハブ (HUB) の LINK LED が点灯していますか？
- ・ ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？
- ・ ネットワークケーブルは断線していませんか？
- ・ イーサネットハブ (HUB) のポートが故障していませんか？

■ 印字したいプリンターが動作せず、他のプリンターに印字されてしまう

[確認]

- ・ 印字したいプリンターと他のプリンターの IP アドレスが同じ設定になっていませんか？
- ・ IP アドレス設定を確認し、再設定を行ってください。

■ 印字が途中で停止してしまう

[確認1]

印字中のプリンターと他のプリンターの IP アドレスが同じ設定になっていませんか？

[確認2]

多数の印字データを送っていませんか？

- ・ 多数の印字データを送ると、印字が一時停止することがあります。
一定時間経過すれば印字が再開されますのでお待ちください。

■ 印字が再開しない

[対策]

用紙無しなどプリンターが印字できない状態が継続すると、Windows がプリンターエラーと判断し、エラーを解除しても印字が再開しないことがあります。

そのときは、「■ 印字を中止したい」の手順を行った後、再印字してください。

■ 印字を中止したい

[対策]

再印字を正しく行うには、以下の手順で印字を中止してください。

- (1) プリンターフォルダーより印字に使用したプリンターを開く。
- (2) スプーラーにある印字中のドキュメントを削除する。
- (3) プリンターの電源を OFF/ON する。

6.3 Windows TCP/IP 環境での問題

■ 印字が行えません

[確認1]

TCP/IP プロトコルを使用している場合、本製品に割り当てた IP アドレスに、Ping コマンドを使って、応答があるか確認してください。Ping コマンドによる応答がない場合、IP アドレスが正しく設定されていない可能性があります。そのときは、本製品の初期化を行い、工場出荷時設定に戻し、再度 IP アドレスの設定を行ってください。



ガイド

- ・ Windows 10 のコマンドプロンプトで、ping を実行するときの例です。
 [スタート] - 「Windows システムツール」 - 「コマンドプロンプト」で右クリックし「管理者として実行...」を選択し、Ping XXX.XXX.XXX.XXX を実行すると下記内容が表示されます。
 ※ XXX.XXX.XXX.XXX は本製品の IP アドレスです。
 - ◆ Pingに応答がある場合
 - XXX.XXX.XXX.XXX からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=255
 - XXX.XXX.XXX.XXX からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=255
 - XXX.XXX.XXX.XXX からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=255
 - XXX.XXX.XXX.XXX からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=255
 - ◆ Pingに応答がない場合
 - 要求がタイムアウトしました。
 - 要求がタイムアウトしました。
 - 要求がタイムアウトしました。
 - 要求がタイムアウトしました。
- ・ 本製品を工場出荷設定に戻す方法については、『5.3 Web ページメニュー構成』の「注 3) 初期化について」(34 ページ)、または『1.5.1 各部の名称と働き』の「SW2 (設定初期化)」(6 ページ)を参照してください。

[確認2]

使用しているプリンタードライバーのプリンターポートの設定ができていない可能性があります。
 「プリンター」のプロパティの「詳細」で「印刷先のポート」を確認してください。

[確認3]

お使いのパソコンと本製品が同一セグメント内に無い場合、本製品にサブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行う必要があります。本製品のWebページでサブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されているか確認してください。

[確認4]

ネットワーク上にDHCPサーバーが存在していると、IPアドレスの自動割当を行うため、本製品に設定したIPアドレスが、各サーバーにより書き換えられてしまう可能性があります。
 各サーバーに本製品のIPアドレスを自動的に割り当てられないように、プリンター設定項目「DHCP」=「DISABLE」に設定されているか確認し、再度IPアドレスの設定を行ってください。

■ 印字中にエラーが発生します

[確認]

他の人が大量に印字を行っていたり、大きなサイズのデータを印字している時に印字を行った場合、他の人の印字が終了するまで印字ができません。長時間待たされた場合、タイムアウトが発生してエラーとなることがあります。そのときは、再度印字を行ってください。

6.4 SSL 印字の問題

■ 印字が行えません

[確認1]

証明書作成時の IP アドレスから変更された可能性があります。

- ・ SSL 証明書情報と不整合が発生すると印字が行えません。証明書を再度作成し、プリンターおよびパソコンに設定してください。

[確認2]

接続先プリンターのURLを確認してください。

- ・ 「https://」に変更してください。「http://」では SSL 印字は行えません。
- ・ IPv6 のときは、https://に続けて指定する IP アドレスを [] (角カッコ)で括ってください。

[確認3]

SSL 証明書の一般名を確認してください。

- ・ 本製品の IP アドレス (IPv6 の時は、IPv6 アドレスを [] (角カッコ)で括ります)を指定して SSL 証明書を作成してください。

■ 印字中にエラーが発生します

[確認1]

SSL 証明書が作成されていますか。

- ・ Web ブラウザーで本製品にアクセスし、SSL 証明書作成ページを開きます。
必須項目が空欄の場合、証明書が作成されていないので、作成してください。

[確認2]

SSL 証明書の有効期限が切れていませんか。

- ・ Web ブラウザーで本製品にアクセスし、SSL 証明書作成ページを開きます。
有効期限が切れているときは、SSL 証明書を再発行してください。

[確認3]

複数のパソコンから同時にSSL印字を行っていませんか。

- ・ SSL を使用した印字は、最大 1 台までです。
現在印字中のジョブが終了したら、印字を行ってください。

[確認4]

プリンターにエラーやアラームが発生していませんか。

- ・ プリンターエラーやアラームにより、タイムアウトが発生し印刷できないことがあります。

■ 印字開始が遅い

[対策]

SSL 印字では、認証処理と印字データの暗号化およびプリンター側での復号化処理により、通常の印字に比べ印字開始までに時間が掛かります。

7 使用上の注意

本章では、プリンターをネットワーク環境で使用する際の注意事項について説明します。

■ 使用上の注意事項

1 台のパソコンから複数のプリンターに対し、Windows 標準の TCP/IP ポートで印字を行うと正常に動作しない場合があります。

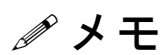
そのときは、プリンタードライバーのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックを外して、印字してください。

■ SSL 証明書の注意事項

SSL 証明書作成後、本製品に https で接続すると、「接続がプライベートではありません (ERR_CERT_COMMON_NAME_INVALID)」と表示される場合があります。

本製品の SSL 証明書は、本製品内で作成する自己証明書で、SAN (Subject Alternative Name) をサポートしていないためです。

[詳細設定] (Microsoft Edge の場合) をクリックし、「xxx.xxx.xxx.xxx に進む」(xxx は本製品の IP アドレス) をクリックして設定画面に進んでください。



LANカード PR-LN4Sソフトウェアガイド

発行日 2024 年 12 月 第 05 版
発行責任 富士通アイソテック株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。


FUJITSU